蒙を啓く

学校だより３月号　2022.3.24

福 井 市 啓 蒙 小 学 校

福井市開発1-1008　TEL：54-2819　FAX：54-9769　E-mail：keimo-e@fukui-city.ed.jp

学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

本日、令和3年度の修了式を行いました。これで卒業生72名を含めた全校児童406名が、無事一年間の学習を終えることができました。コロナ禍に悩まされ続けた一年でしたが、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただきながら、毎日充実した学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。令和４年度もどうぞよろしくお願いします。

1　「式辞より（卒業生に向けての言葉を抜粋）」　卒業証書授与式：3月14日（月）

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、皆さんが手にしている卒業証書には、この六年間で学んだこと、経験したこと、そして培った力のすべてが込められています。特に六年生として過ごしたこの一年は大きく成長できましたね。その中でも、コロナ禍で制限の多い中、全力で取り組んだ体育大会の応援、すばらしいがんばりでした。今でも私の心を熱くしてくれます。また、同時に、これまで皆さんの成長を支え、温かく見守り、励ましてくださったおうちの方、先生方、地域の方々などたくさんの人の思いが込められているとても重みのあるものです。感謝の気持ちを忘れずにいてほしいです。

卒業証書を受け取る皆さんからは、小学校の課程を終えた達成感とこれから中学生になるんだという、強い自覚を感じました。

そんな皆さんに、「五風十雨」の話をしたいと思います。

「五風十雨」とは、五つの風と十の雨と書きます。五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降るような天候だと、農作物が順調に育ち豊かな実りを迎えることから、物事がうまく進んでいること、あるいは世の中が平穏無事であることを例えた言葉として使われます。

では、どうして五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降ることがよいのでしょうか。考えてみましょう。

まず、五日ごとの風です。全く風が吹かないとヒョロヒョロと背だけ高くなってしまいます。毎日だと風に負けて倒れてしまうかもしれません。ときどき吹いてくれることで、がっしりと丈夫な体に育つのです。

次に、十日ごとの雨です。みなさんは十日ごとでは少し足りないように思いませんか。ところが、少し足りない方がよいそうです。なぜなら、植物は水を求めて根っこをしっかり伸ばし、水だけでなく、栄養分まで十分に吸収できる体に育つからです。

私はこれらのことが、人の成長にもあてはまると考えています。人も楽なことばかりでなく、ときどきは面倒なことや苦しいことにぶつかりながら、それを乗り越えていくことで自分に自信をもち、心身共に健康に育っていくことができるからです。皆さんは、これから中学校に進学し、多くの人に出会い、そこから多くのことを学び、同時に多くの課題に直面することになると思います。しかし、それも皆さん自身の成長を助ける「風や雨」と考えれば、いずれは豊かな実りのときを迎えることができるでしょう。

これからもこの啓蒙小学校で培ってきたことを土台にして、たくましく成長していってください。「元気なあいさつ」「友達となかよく」「ねばり強く」を意識して、笑顔いっぱいの中学校生活を送ってほしいです。

2　教職員人事異動：ありがとうございました。

春は出会いの季節であるとともに、別れの季節でもあります。今回の異動で８名の先生方が本校から旅立たれます。いずれの先生も本校の子供たちのために一生懸命に力を尽くしてくれました。本当にありがとうございました。先生方からのメッセージを紹介します。

この度、３８年という長きに渡る教師生活は、長いようでもあり、一夜の夢のごとくのようでもあります。思い返せば、いくつもの学校でたくさんの子供たちや保護者の方々、地域の方々に支えられながらの日々でした。教師として、一人の人間として不十分な私を支え、育ててくださった数々の奇跡の出会いに深く感謝しかありません。そして、最後の学校がこの素晴らしき啓蒙小学校であった奇跡に感謝し、子供たちとの大切な思い出を胸に、第二の人生を歩んでいきます。皆々様のご発展を心よりお祈りし、お礼の言葉に代えさせていただきます。　　渡邉淳子先生

啓蒙小学校では、７年間お世話になりました。啓蒙っ子たちは、本当に心が優しい子たちばかりです。最初は、自分の気持ちをうまく伝えられずに、けんかしたり、悩んだりすることもありました。しかし、最終的には、自分よりも相手のことを考えて、判断し、行動する子供たちにたくさん出会うことができました。そんな子供たちの大切な成長の瞬間に携わることができて、本当にうれしく思っています。４月から、明新小学校へ転任しますが、これからの啓蒙小学校の発展を願っています。今まで、ありがとうございました。　　今井俊一先生

去年の４月に啓蒙小学校にお世話になることになって、早１年が過ぎました。啓蒙小学校では、２年生、４年生、５年生、６年生の授業を持たせていただきました。この１年で感じたことは、啓蒙の子は興味があると、どんなに難しいと思えるようなことであっても、一心不乱に取り組む強さをみんなが持っているなあということです。その力は、社会で生きていく上で、とても大切なものだと思います。４月からも、どんどんいろんなことに挑戦して啓蒙っ子らしさを存分に発揮してほしいと思います。短い間でしたが、ありがとうございました。　　浦井寿尚先生

一緒に時間を過ごすことができたひまたんの皆さん、みんなと出会えて本当によかったです。次は先生とは別のお仕事になりますが、啓蒙での経験を生かして、頑張っていきます。時には辛いこと苦しいこともあるかもしれないけれど、ふんばって頑張ってくださいね。一年生の皆さんや委員会等でご縁があった皆さん、深い関わりが無くても名前を覚えて話しかけてくれた皆さん、１年間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。　　新井明音先生

啓蒙小学校の皆さん、今までお世話になりました。３年生の皆さんは、今でも廊下ですれ違う度に、手を振りながら笑顔で「進士先生！」と声をかけてくれてとても嬉しかったです。１年生の皆さんは４月と比べ、できることがたくさん増えました。日々成長する皆さんともっと一緒に過ごしたかったですが、皆さんとの思い出を胸に、次の学校でも頑張ろうと思います。またどこかで会ったら、声をかけてくださいね。応援しています。　進士佳菜恵先生

啓蒙小学校で7年間勤務させていただきました。7年間、児童のみなさんと保護者のみなさまにいつも優しく接していただき、たくさん力をいただきました。感謝しております。また、地域の方々や啓蒙公民館のみなさまからもたくさんのサポートや温かいお声がけをいただいたことを覚えています。7年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。　深井郁弥事務職員

啓蒙小学校での思い出を振り返ってみました。

① 複雑な校舎：教室の並びが覚えられなくて、赴任当初はよく迷子になっていました。
② 楽しい行事：校外学習・体育大会・宿泊学習・送る会･･･どれも全力が楽しかったです
③ やっぱり授業：継続は力なり。自分の力で見つけたり、解決したり、できるようになったりと、子供たちが成長する姿を見ることができるのが幸せでした。

楽しい思い出がよみがえってきます。これからも、啓蒙っ子を応援します。　　鳥居登志子先生

啓蒙小学校では、６年間お世話になりました。体育大会、連体、連音、修学旅行など、子供たちのたくさんの笑顔を見ることができました。また、ＰＴＡや地域の行事では、保護者の方々や地域の方々と一緒に楽しい思い出を作ることができました。これからは啓蒙小学校の皆さんが活躍するニュースを楽しみにしたいと思います。本当にありがとうございました。　　中嶋信二先生

新年度は４月８日の入学式からスタートします。ピカピカの１年生６４名を迎え、「笑顔でいぱいの啓蒙小学校」を目指して、「元気なあいさつ」「友達となかよく」「ねばり強く」をがんばります！